

いばらきのニュースレター

2022年を盛大に締めくくり、2023年の始まりも華やかに

いばらきの年末年始特集

今年もいろいろな事がありました。今回は、2022年の締めくくりを、そして新しい年の始まりをいばらきで楽しく過ごせるような「迫力あり、見ごたえあり」の催しものをご紹介します。

2023年の干支は「卯（うさぎ）」！この時期にしか撮影できないフォトスポット

干支の巨大地上絵 @国営ひたち海浜公園（ひたちなか市）

展示期間：2022年12月17日（土）～2023年1月9日（月・祝） ※休園日を除く

今年も国営ひたち海浜公園の大観覧車前では、冬の風物詩『干支の巨大地上絵』の制作が、11月28日(月)から開始されました。図案をチョークで描き始めてから、およそ3週間かけて完成させます。今回は、2023年の干支「卯（うさぎ）」が大観覧車の前に描かれます。

制作には、園内の間伐材や松ぼっくり、夏から秋にかけて色彩の変化を魅せたコキア等の自然素材を再利用しています。12月11日(日)にはお客様による制作体験も行われ、コキアや松ぼっくりを敷き詰める作業をたくさんのお客様にご協力いただきました。

全てが手作りの巨大地上絵は圧巻の景色です！

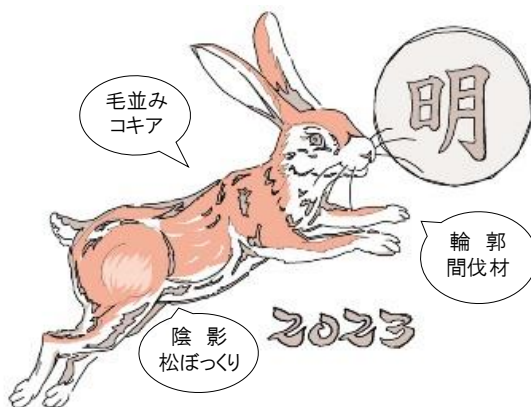


2022年12月11日撮影

今年のテーマは『明るい未来に向かって、天高く飛び跳ねる兎』

地上絵は、国営ひたち海浜公園ならではの冬の新たな魅力をつくろうと2008年度から始まりました。

2023年の地上絵には、「兎のように高く飛び跳ねることで、コロナ禍や争いごとが続く困難な日々を乗り越え、世の中を明るくしたい！」という思いを込めています。現在はコキアと松ぼっくりを敷き詰める仕上げの作業中で、16日（金）に完成し、翌17日（土）より公開します。



全体サイズ：縦25m×横33m

使用数：コキア約600株、松ぼっくり約20,000個

巨大地上絵のベストショットは大観覧車

大観覧車からの撮影は午前中がおすすめ！

観覧車を正面に見て、ゴンドラが10～11時の位置に上がったときがベストタイミングです。窓ガラスは反射しやすいので、カメラをギリギリまでガラスに近づけて撮影することがポイントです。

【時 間】9：30～16：30（2022年11月1日～2023年2月28日）

【休園日】火曜日（火曜が祝日の場合は翌日休業）

※12月20、31日、1月1日、2月6日～2月10日は休園。

【場 所】茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

【お問合せ】国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター

 TEL 029-265-9001 <https://hitachikaihin.jp>
過去の作品もチェック

公式HPでは、過去の作品を見ることが出来ます。今回で15年目（14作品目）を迎える干支の巨大地上絵ですが、その年によってテーマや図案が異なる場所も魅力です。地上絵が出来るまでの詳細もご紹介しています。


 ▲公式HPより
 地上絵物語

～干支の巨大地上絵ができるまで～

県内屈指の初日の出スポット！兔に関わる神様が祀られた神社

おお ありがたいそ さき じんじゃ 大洗磯前神社 (大洗町)

～神磯の鳥居、随神門～



①



③

①神磯の鳥居と日の出

②干支の大絵馬

③随神門のウサギ

昔から医薬の神様として信仰がある大己貴命おおなむちのみことと少彦名命すくなひこなのみことを祀っている大洗磯前神社。目の前にある海辺に建っている鳥居の場所に、二神が降臨されたことが大洗磯前神社の始まり、とされています。岩礁に打ち付ける波と神々しい鳥居越しに昇る朝日は引き込まれるほど美しく、絶景スポットとしても人気です。元旦には、「初日の出」を見ようとたくさんの方が訪れます。

また、大己貴命は『因幡(いなば)の白兔』(※)という神話でも有名で、大己貴命と縁のあるウサギが神社の随神門や絵馬にあしらわれています。さらに、12月1日から境内に設置された干支の大絵馬にも、今回はウサギがあしらわれています。大絵馬は2023年5月まで飾られます。卯年の初めは大洗磯前神社へ隠れたウサギを見つけに訪れてみてはいかがでしょうか。

(※)大己貴命が、「鰐(わに)に皮をはがれて苦しんでいた白兔に、傷が癒える方法を教えてあげた」という神話

【場所】大洗磯前神社(茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6890)

【時間】6:00～17:00 (10月～3月)

【TEL】029-267-2637

<https://www.oarai-isosakijinja.net/>

4年ぶりに開催！元旦の海に飛び込む神輿と漢たちの勇姿がここに！

がんたん みこし とぎよ 元旦神輿渡御 @高萩海岸 (高萩市)

開催日：2023年1月1日(日)

「元旦神輿渡御」は、1年間の無病息災を願って元旦の朝に行われる奇祭です。コロナ渦の影響により2020年からは中止が続きましたが、2023年は4年ぶりとなる26回目の開催が決定いたしました。

元旦の朝に津明神社(つみょうじんじゃ)を二基の神輿が出発し、威勢の良い掛け声と共に海岸までの道を練り歩きます。海岸に着くと熱気を帯びた漢たちが神輿を担いだまま、初日の出に向かって極寒の海へ！荒波にも負けず、日が昇るのを見届けて浜へ上がります。過酷な状況に立ち向かう勇壮な漢たちの姿をぜひご覧ください。

【開催日】2023年1月1日

【場所】津明神社 出発(6:20～)
高萩海岸 到着(日の出頃)

【主催】高萩市元旦神輿渡御実行委員会

【駐車場】「有明駐車場」または「高浜スポーツ広場駐車場」
5:00から9:00までの間は無料開放
9:00以降は施錠になるため、ご注意ください。

※コロナの状況により、中止になる場合がございます。

【お問合せ】(一社)高萩市観光協会

TEL 0293-23-2121 <http://www.takahagi-kanko.jp/>



高さ日本一の牛久大仏と2022年を盛大に締めくくり、新年を迎える

牛久大仏初詣～修正会～ @牛久大仏（牛久市）

【三が日（書き初め・写経・初市、テラスステージ、ふれあい動物公園）】

開催日：2023年1月1日（日）9：30～1月3日（火）16：30



大仏様の足元にある大香炉も日本一の大きさです！

全長120メートルを誇る牛久大仏は、1995年「青銅製立像」で世界一高いとしてギネスブックに登録されました。外から拝むだけでなく、大仏様の胎内(たいない)に入り、様々な体験をすることができます。敷地内では、四季折々の美しい花の景色や動物たちと触れ合う癒しのひと時を過ごせたりと一年を通して楽しむことができます。

修正会は、大晦日の夜から三が日にかけて行われます。一年の反省をし、新年にあたり日頃の報恩感謝を念じる行事です。期間内は大仏胎内3階までの拝観となりますが、無料でお参りすることができます。写経や書き初めなどの体験や、ステージ、ふれあい動物公園のイベントなども開催いたします。新年の始まりを日本一大きな大仏様と一緒に迎えてみてはいかがでしょうか。

【時間】9：30～16：30（10～2月）※年中無休

【場所】茨城県牛久市久野町2083

【お問合せ】牛久大仏管理事務所 TEL 029-889-2931

<https://daibutu.net/index.html>

※コロナの状況により、中止になる場合がございます。

湊線で行く！初日の出・初詣をめぐる列車の旅

初日の出・初詣列車の運行 @ひたちなか海浜鉄道

（ひたちなか市）

開催日：2023年1月1日（日）

2009年から始まった湊線の初日の出・初詣列車は、知る人ぞ知る元旦イベントで、毎年たくさんの方が利用しています。定期列車二本を勝田駅から「急行あじがうら号」と「快速なかみなど号」として運行し、それぞれ異なるルートを巡ります。湊線を知り尽くした「おらが湊鉄道応援団」が初詣・初日の出のスポットを案内してくれるため、地元ならではのポイントを巡ることができます。また、参加者特典として携帯カイロやほしいもなどの嬉しいプレゼントも♪2023年の初詣はレトロな雰囲気を楽しめる湊線の旅をしてみたいでしょうか。

【急行あじがうら号】勝田駅 5：30（発）→阿字ヶ浦駅 5：58（着）
阿字ヶ浦駅から「おらが湊鉄道応援団」が、堀出神社（ほしいも神社）や磯崎灯台下など初詣、初日の出ポイントをご案内します。

【快速なかみなど号】勝田駅 6：04（発）→那珂湊駅 6：20（着）
那珂湊駅から「おらが湊鉄道応援団」が湊公園、天満宮など初詣、初日の出ポイントをご案内します。

【お問合せ】ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅

TEL：029-262-2361 <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>

「おらが湊鉄道応援団」とは、ひたちなか海浜鉄道湊線の存続・発展を願い、さらには湊線を核とした会員と地域住民の交流を通じた地域の活性化を目指し、活動している市民団体です。 <http://minatosen.com/>

■本件に関するお問い合わせ、ご取材のお申し込みは、下記までご相談ください。

茨城県広報事務局（フロンティアインターショナル内） 担当：東山(070-3266-6497)、五十嵐(080-5475-7972)

TEL 03-5778-4844 FAX 03-5778-6516 E-mail: ibaraki-pr@frontier-i.co.jp

（リリース等の配信先の変更、配信停止をご希望の方は、上記までご連絡ください）